

重点施策 特色と魅力のある学校づくりの推進	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価実施者</td> <td>所 属</td> <td>教育支援課</td> </tr> <tr> <td>職・氏名</td> <td>課長 吉川 修</td> </tr> </table>	評価実施者	所 属	教育支援課	職・氏名	課長 吉川 修
評価実施者	所 属		教育支援課			
	職・氏名	課長 吉川 修				

重点施策の概要	目 的	学校独自の創意工夫に満ちた教育活動を推進し、特色や魅力ある学校づくりを進めます。
	今年度の主要事業	①学校の魅力づくりの推進

事業の目標と実績	区 分		単位	H24	H25	H26	特記事項
	1	学校に魅力づくり事業に取り組む学校	目標 実績	校	11校 9校	11校 9校	
2	学校の特色を伸ばすため、道教委などからの事業を受託	目標 実績	校	— 4校	— 2校	— 1校	H24: 北方領土教育、ふるさと教育、ボランティア活動普及事業 H25: 道徳推進校(江部乙小) ボランティア活動普及事業(江部乙中) H26: ふるさと教育推進事業(江部乙中)
3		目標 実績					
4		目標 実績					
5		目標 実績					

事業の分析効果の検証	①学校の魅力づくり事業の推進・・・学校の教職員や児童生徒による創意工夫のある教育活動に対して、補助金を交付して、学校の特色や子どもたちに愛校心が育つよう推進した。 26年度⇒魅力づくり事業予算100万円を運用して、各校の活動を支援した。 (東小: 音楽活動、江部乙中: 観光大使活動、第三小: ICT活用授業等)
------------	--

課題	①学校の魅力づくり事業の推進・・・各学校の魅力づくり事業を積極的にPRして、保護者からの学校評価項目の対象として改善向上に取り組む。
----	--

評価	A	<p>評価の視点1 期待どおりの効果があったか 教職員の発想や子どもの要望に応える企画・立案が多くみられた。</p> <p>評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか 事業期間は、平成24～26年度の3年間で第1次計画としたことから、この間の評価が必要である。</p>
----	----------	--

【評価の区分】

- A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
- B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
- C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
- D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	<p>政策・予算協議などの結果、補助金を交付する事業としては取りやめとなった。しかし、3年間で事業の基盤となる教材備品等を活用して活動の継続を図る。</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統廃合 <input type="checkbox"/> 質的向上 <input type="checkbox"/> スピートアップ <input type="checkbox"/> 検証 <input type="checkbox"/> 継続</p>
-----------	---

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	特になし
---------------	------